

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

蒲郡市地域公共交通計画の評価等結果（2021年4月～2022年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
鉄道（名鉄西尾・蒲郡線） 年間利用者数：155万人/年	交通事業者との事業継続の合意を基に、利用促進策を実施。市民の協力を得た利用促進活動も実施。	交通事業者による利用実績データより	吉良吉田～蒲郡駅間 年間利用者数：125.3万人 （前年比：107%）	コロナ禍前の実績を基に目標値を設定しており、コロナ禍の影響が残る。2020年度よりも増加しており、回復の兆しあり。利用促進策の継続実施を行う。	
民間路線バス 年間利用者数：16万人/年	市より運行費用を補助し路線維持確保を行う。バスマップを作成、配布する。	交通事業者による利用実績データより	利用者数：10.6万人 （前年比：99%）	コロナ禍前の実績を基に目標値を設定しており、コロナ禍の影響が残る。コロナ禍から減便ダイヤで運行を継続中。2020年度と比較し微減し、回復の兆しがない。利用促進策の継続実施を行う。	
支線バス 総利用者数の増加。 複数路線があり、路線別利用者数の増加と収支率10で評価。	バスマップを作成し、配布する。各沿線地区での公民館等によるPR活動を実施。	交通事業者による利用実績データより	総数：増加（事業拡大） 1形原：前年比133%（収支12.1%） 2東部： 〃 99%（収支5.6%） 3西部： 〃 155%（収支6.3%） 4三谷： 〃 130%（収支6.7%） 5大塚：21年度より運行（収支6.7%）	路線毎に路線の導入時期、沿線人口の差異等の地域特性があるため、同水準の成長は見込めない。東部地区での微減があり、コロナ禍の影響から脱していない。収支率基準10%は、形原以外の路線でクリアできていない。個別地区単位での利用促進策、広告事業の継続実施を行う。	三谷地区の前年は1-3月の利用実績を年間値に拡大して設定。
タクシー （高齢者タクシー運賃助成事業） 利用者数：3,500人/年	ホームページ、広報等によるPR活動を実施。	交通事業者による利用実績データより	利用者数：2,926人 （前年比：102%）	70歳以上の移動制約者に対する福祉的サービス。コロナ禍前の実績を基に目標値を設定している。コロナ禍の影響から外出行動の制限より目標値は達成していないものの前年比で増加、回復の兆しあり。福祉部門と連携し、広報活動を継続して実施する。	
鉄道・民間路線バス・支線バス 人口カバー率：92%以上	交通空白地となっている地域住民代表への聞き取り等を踏まえ、地域に適した公共交通の導入を進める。	-	-	-	計画期間を通して改善を図っていく。
全モード 日常の移動に不便を感じている人の割合：30%未満	交通空白地の解消をはじめ交通網の充実を図るとともに、バスマップの作成など利用してもらうための情報発信を行う。	-	-	-	計画更新時の市民アンケートにより改善状況を把握。

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。